

「あらかわの心」ニュース

大人が自ら認識し実践することで、青少年の心を育もうと呼びかける「あらかわの心」推進運動。メンバーによる地道な活動は平成27年に10周年を迎えました。

祝 10周年！
特別編集版

第20号

第20号 平成28年1月8日発行
発行「あらかわの心」推進運動区民委員会事務局
〒116-8501 荒川区荒川2-2-3
(荒川区子育て支援部児童青少年課内)
TEL.03-3802-3111(内線3833) FAX.03-3802-0809
<Eメール>
arakoko@city.arakawa.tokyo.jp
<ホームページ>
http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kosodate/kyoiku_seishonen/suishinundo/index.html

10周年記念事業

平成17年度に「あらかわの心」推進運動を開始して以来、10年が経過しました。これを節目として、より一層の普及・啓発を図っていくために、平成27年10月3日(土)に記念事業を行いました。15時から日暮里サニーホールにおいて記念講演会、17時からホテルラングウッドにおいて式典・祝賀会と、多くの皆様に来場いただき、次の10年に向けて新たな出発をいたしました。



写真は右から順に、区議会の保坂副議長、西川区長、区民委員会の星会長、町会連合会の齊賀会長(区民委員会副会長)、東京商工会議所荒川支部の富永支部会長(同副会長)、青少年育成地区委員会連絡協議会の高安会長(同副会長)。

10周年記念の式典を開催

多くの参加団体代表と区議会議員等が列席

ホテルラングウッド飛翔の間にて17時より挙行了した記念式典には、区議会議員をはじめ、各町会長や青少年育成地区委員会会長、学

221名の皆様のご列席をいただき、厳粛な雰囲気での開式となりました。

校長やPTA会長等、開会にあたり、「あらかわの心」推進運動区民委員会の星一郎会長が式辞を述べた後、本区民委員会の顧問であり特別区長会会長でもある西川太一郎荒川区長よ

り式辞をいただきました。区長は式辞で、おせっかいおじさん・おばさん運動や「あらかわの心」カルタ大会、PR寸劇の上演等の10年間の活動を紹介しながら、「荒川区の特性である地域力を活かし、未来を背負って立つ子どもや区民のために」と、本運動への支援・協力をお願いしました。次いで、荒川区議会の保坂正仁副議長より祝辞を賜わり、来賓紹介へと続きました。

式典の結びに、本区民委員会幹事会の安部義治幹事長が、10年間の活動報告を行い、こころの東京革命協会の川淵三郎会長からの祝電をご紹介させていただきました。閉式となりました。

式典終了後、鳳凰の間にて、祝賀会を開催。参加団体の皆様への謝意を表すとともに、これから一層の普及・啓発を推進していくことを確認し閉会となりました。

次世代へ「あらかわの心」を継承

大人が手本となり
子どもを育てていく

10年の活動報告の中で、荒川区に受け継がれてきた「郷土と地域を愛し、人を思いやる温かく優しい心」についての話がありました。「あらかわの心」推進運動は、この心を、大人が様々な実践を通して、次の世代を担う子どもに受け継いでいくことを推進する運動です。

主な対象を大人へ向けています。それは大人が手本となり、未来社会の守護者である子どもを育てていこうと考えるからです。

個人の価値観や立場の相違を越えて、お互いを尊重し合える地域社会の実現を目指して10年。まだまだこの運動が荒川区全体に浸透しきつていないわけではありません。明日を支える宝である子どもが、人へ積極的な関心を持ち、思いやりや奉仕・助け合いの心を育めるよう、地域ぐるみ街ぐるみの「あらかわの心」推進運動として行つてまいりたいと思います。

個人への価値観や立場の相違を越えて、お互いを尊重し合える地域社会の実現を目指して10年。まだまだこの運動が荒川区全体に浸透

しきつていないわけではありません。明日を支える宝である子どもが、人へ積極的な関心を持ち、思いやりや奉仕・助け合いの心を育めるよう、地域ぐるみ街ぐるみの「あらかわの心」推進運動として行つてまいりたいと思います。

進する運動です。

啓発物品の製作やおせつかいおじさん・おばさん運動の展開、カルタ大会、出前説明会、講演会の開催等、活動内容とその対象は多岐にわたりますが、普及・啓発の



記念式典の冒頭で式辞を述べる星会長。



本運動が推進する「心をつなぐ5つの取り組み」を5つのハートマークで表現したシンボルマーク。



「あらかわの心」カルタ
 ⑤ふれあい 言葉と心のネットワーク
 ⑥連帯感 あいさつきまりの輪ができる

10周年に寄せられた声

- 少しでも区民に「あらかわの心」推進運動が広まるのが大事だと思いました。
- これからも是非、荒川を良くしていきましょう。
- 次へ向けてさらに大きな波及を期待します。
- 大変素晴らしい運動です。
- 寸劇を見たことがありますが、とても良い内容です。
- 「あらかわの心」カルタは、子どもに人気ですね。
- 青少年の育成に携る者として感謝します。
- 「あらかわの心」推進運動には学校と地域を結ぶ役目があるように思います。
- 子どもにたくましく育て欲しいのは皆一緒ですね。
- 未来を担う子どものことを考えたら、大変に意義のある10周年だと思います。
- 会長を始め、区民委員会また幹事の皆様、荒川のために10年間ありがとうございます。



200名超という多くの皆様にご列席いただきました。

さらなる推進に向けて

「あらかわの心」推進運動区民委員会副会長である町会連合会斉賀靖佳会長のご発声で開会した祝賀会では、10年間の思い出話や継続の喜びを感じながら、振り返るひと時となりました。途中、10年間の活動記録を収めたスライドの上映のほか、山崎律子副幹事長による来場者インタビュ어가場内を盛り上げました。楽しい雰囲気の中で、「あらかわの心」推進運動への理解と協力を呼び掛けるとともに、さらなる推進をお願いすることができました。



町会連合会の斉賀会長のご発声で祝賀会が開会。

記念講演会を開催

大人が子供に伝えるべきことをテーマに講演

式典・祝賀会の開催に先立ち、15時から日暮里サニーホールにおいて、「あらかわの心」推進運動10周年を記念して記念講演会を行いました。講師にお迎えし

たのは警察庁長官官房政策評価審議官兼長官官房審議官河合潔氏。「大人が子供に伝えるべきこと」規範意識の向上と地域の絆の再生」をテーマに行われた約50分の講演を、203人の参加者が熱心に聴いていました。



「子どもは10年経てば大人になる。さらに10年経てば親になる」という群馬大学教授の言葉をキーワードに、東京都青少年・治安対策本部長、こころの東京革命協会事務局長としての経験を踏まえ、10年余りの治安の移り変わりや子どもを取り巻く課題等を講演。

講演会に寄せられた声

- 子どもの手本となるよう心掛けていきたいと思いました。
- いつの間にか、自分勝手な親になっていたようで、反省しています。
- 地域が大切であるということを知り学んだ。
- 「あらかわの心」推進運動で啓発していることは、どれも当たり前のことですが、それが大切だということを知りました。
- 寸劇が工夫されていて楽しく拝見できました。
- 小中学生のお母様方にも聞いてもらいたい内容でした。ビデオでも良いので機会があれば聞いてもらいたい。
- 具体的でわかりやすかった。毎日、実践していきます。
- 子どもに優しい声掛けをして、少しでも良い社会にできるようがんばります。



講演会場にはオリジナルのカルタやのぼり旗、広報紙などの啓発物を陳列しました。



講演会には区民委員会の星会長、西川区長、荒川区議会齋藤議長がご出席されました。(写真は齋藤議長)

寸劇形式の事業発表でこれまでの実践を披露

西川区長・荒川区議会齋藤泰紀議長から講演に先立って、ご挨拶をいただきました。さらに、本区民委員会の幹事10名による「10年間のあゆみ」と題した寸劇形式の事業発表を行い、「あらかわの心」推進運動のこれまでの実践とともに、その活動理念をお伝えしました。

母と子の会話という設定で演じられた寸劇では、シンボルマークの由来やオリジナルカルタ製作の経緯、また「江戸しぐさ」講演会を紹介し、最後に「幸せなら手を

●「江戸しぐさ」講演会



平成21年に開催した「江戸しぐさ」講演会の紹介では、雨の日のマナーを実演。

●「あらかわの心」カルタ



啓発物品の中でも子どもに人気のある「あらかわの心」カルタを紹介。

●シンボルマーク



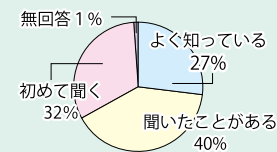
5つの取り組みを5色のハートマークで表現したシンボルマーク。

「たたこ」のメロディにオリジナルの歌詞を乗せた「荒川家の朝ごはん」を合唱しました。

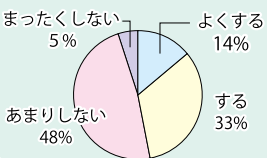
TOPICS トピックス

第29回川の手荒川まつりのブースでは、「あらかわの心」推進運動の一環として啓発をしている「おせっかいおじさん・おばさん運動」に関するアンケートを実施。150人から回答をいただくことができました。

この運動を知っている？



『おせっかい』をする？



あなたがした『おせっかい』を教えてください！

- エレベーターの順番を抜かした子どもに注意した。
- カギを忘れて家の外で待っている子に声を掛けた。
- たくさんの子どもを連れのお母さんを手伝った。
- おばあちゃんが平気な顔をして信号無視をしていたので、注意した。
- 中学生1人が3人位からかわれていたので注意した。

身の回り起きた『おせっかい』にまつわる話

- 毎朝、銅像の前を掃除しながら、子どもに声を掛けてくれる方がいる。
- 電車内で騒いでいた子どもに、隣の人注意していた。
- 自転車の放置を注意していた。
- 自転車で乗りながら携帯を見ていた人が注意されていた。
- 妊婦さんに席を譲るよう、着席している乗客に男子中学生が指摘していた。

平成27年度賛助会員

- 高田忠則
荒川区立小学校PTA連合会OB会
荒川区立中学校PTA連合会OB会
荒川区保護司会
家庭倫理の会荒川区
荒川区スポーツ推進委員会
荒川区少年団体指導者連絡会
レインボー子ども会
荒川区ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会
荒川交通少年団
荒川消防少年団
荒川区商店街連合会
荒川区しんきん協議会
荒川区社会福祉協議会
(敬称略)

お知らせ

第7回「あらかわの心」カルタ大会

毎年恒例となっている「あらかわの心」カルタ大会を今年も開催します。最初の一句が読まれると「ハイ！」と元気よく声を上げ、札を取る子どもたち。参加の募集は1月15日で締め切りですが、絵札を囲み熱気を増す出場者たちを応援に、ぜひ会場へ足をお運びください。

日時：平成28年2月6日(土) 13時～16時(予定)
会場：生涯学習センター 体育館(荒川区荒川3-49-1)

出前説明会とPR寸劇上演依頼を募集中

「あらかわの心」推進運動区民委員会では普及・啓発のため、学校や諸団体へ出向き、出前説明会や寸劇などのPR活動を行っております。ご希望の方は事務局までご連絡ください。

大人が変われば子供も変わる
「あらかわの心」推進運動とは、親と大人が責任を持ち、次代を担う子供の正義感や倫理観、思いやりの心を育み、自らが手本となりながら、人が生きていくうえで当然の心得を伝えていく取り組みです。

こころの東京革命協会 会長メッセージ



川淵 三郎 会長

「あらかわの心」 推進運動10周年を祝して

この度、「あらかわの心」推進運動が10周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

「あらかわの心」推進運動は、子供の未来のために、まず大人が行動するという考えが育み、人が生きていく上で親や大人自らが手本となつて次代を担う子供の正義感や倫理観、思いやりの心を育み、人が生きていく上で

当然の心得を伝える「こころの東京革命」に取り組んでおります。2020年には東京でオリンピック・パラリンピックが開催されます。オリンピック・パラリンピックの開催が近づくとつれて、世界各国からの訪問者が多くなつてくるのが予想されます。世界の様々な文化や障害を持つ方について考える機会が増え、これまで以上に子供の「おもてなしのこころ」「思いやりのこころ」を育んでいかなければ

なりません。「あらかわの心」推進運動「こころの東京革命」の取組に共通しているのは、「まず大人が行動をする」ということです。子供をしっかりと育てていくためには、大人が子供に手本を見せることが大切です。子供は大人の背中を見て育ちます。大人が範となる行動をとることで、子供にも自然と身に付くことになるでしょう。これらの取組を継続して展開していくことで、荒川の将来、東京の将来を明るく

することができるようになります。2020年、世界に誇れる日本人の「こころ」で世界中の方々をお迎えするためにも、この二つの運動が両輪となつて子供の健全育成、また、そのための親や大人の意識改革をリードしていきます。

末筆ながら、「あらかわの心」推進運動に携わる関係者皆様の御健勝、御活躍を祈念いたしまして、10周年のお祝いの言葉とさせていただきます。